



令和4年度対エルサルバドル共和国 草の根・人間の安全保障無償資金協力 「サン・ディエゴ村診療所建設計画」 署名式





2023年3月27日、有吉勝秀駐エルサルバドル日本国大使は、カルラ・ディアス保健副大臣、ビジャ・サン・アントニオ市役所ホセ・オスミン・マルティネス市長、サン・ディエゴ村村落開発協会（ADESCONACASCOL）レスメ・アルゲタ会長及びカンポ財団（NGO）アレクシ・ロメロ専務取締役とともに、サン・ディエゴ村及び周辺地区の住民に対する保健医療の充実のためのサン・ディエゴ村診療所建設計画の贈与契約に署名しました。本計画にかかる総費用は約289,300米ドル、日本からの支援総額は224,905米ドルとなります。

本計画サイトは、首都サンサルバドルから東部に5時間ほど移動したホンジュラス国境にほど近い、道路事情、交通事情が大変厳しい場所にあります。この場所において、サン・ディエゴ村を含む7村及び近隣に住むホンジュラス住民に基礎医療サービスを提供するための診療所を建設します。この診療所では、年間延べ約3,500人の患者を診察しており、上記7村の人口は約1,900人（514世）が対象です。



大使公邸での記念集合写真

現在のサン・ディエゴ村診療所は、小さな民家を借りて運営されており、限られたスペースを簡易に作られた壁で区画して診療室として利用しているため、過密状態にあり、患者が必要とするプライバシーが保たれていません。また、水場も1か所のみで、医療器材、日常用食器類や掃除用具の洗浄に用いられ、衛生面の確保ができていません。

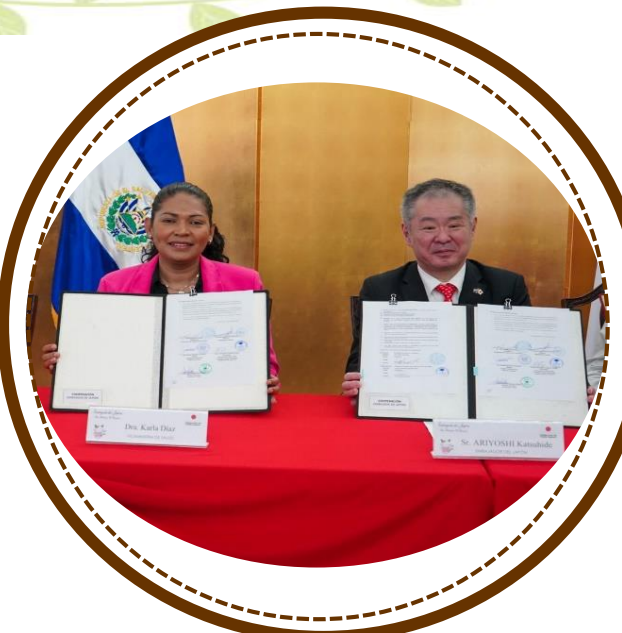


このニーズに応えるため、サン・ディエゴ村村落開発協会の代表者たちは、保健省やカンポ財団（NGO）の技術的支援を受けながら、ビジャ・サン・アントニオ市役所と共に、公共医療サービスネットワークの管理と強化に取り組んできました。しかしながら、本計画を実施するための資金全ての拠出は困難だったことから、在エルサルバドル日本国大使館に支援要請がなされました。



サンミゲル県
ビジャ・サン・
アントニオ市

サン・ディエゴ村
診療所建設計画



サン・ディエゴ診療所建設は保健分野における重要なプロジェクトですが、本日の増し契約の締結は、全ての始まりに過ぎません。私たちの目標は、この計画を完成させ、未来の新しい世代が継続的にこの設備を利用できるように維持することです。

私たちはこの計画の成功を確信しています。また、日本は、保健分野のみならず、エルサルバドルの地域発展のために重要な飲料水の供給や教育などのインフラ整備にも支援を行っています。

駐エルサルバドル日本国大使
有吉 勝秀

保健省として、サン・ディエゴ村診療所建設計画の署名式に参加することができ、非常に嬉しく思っています。この診療所が完成することで、大変厳しい環境にいる住民の皆さまに、質の高い、温かみのある医療環境が提供されることになります。

私たちは、皆が協力することでこの計画を完遂できると確信しています。日本の支援によって保健分野においてさまざまな計画が達成されており、日本のパートナーシップに大変感謝しています。

保健副大臣
カルラ・ディアス博士

在エルサルバドル日本国大使館が「草の根・人間の安全保障無償資金協力」を通じて実施しているこれらの案件は、「人間の安全保障」の概念である「人間一人ひとりに着目し、生存・生活・尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り、それぞれの持つ

豊かな可能性を実現するために、保と能力強化を通じて持続可能な個人の自立と社会づくりを促す考え方」のもと、エルサルバドル人、特に国内で最も脆弱な地域の医療環境の質を改善しようと試みているものです。